

將軍地藏の話

此ばんば末右の方松山の内、丹塗木鳥井ある。その内愛宕のほこら有。かちう（甲冑）をたいし、せいりうとう（青竜刀）を御持馬上のさいしきの像也。あたらしき也。いの猪を給（食べ）参ると、きわめてとがめ有る。ある時、内海弥九郎、村井惣大夫、若林茂左エ門同道にて参りてくれぐれに各帰りしが弥九郎いづ方へ行しか見ざる故色々尋（たつね）しが行へ不知。惣大夫、茂左エ門心付、右の愛宕へ尋行しに御神前にたわいなく寝入ていたるを引をこしつれ帰る也。内海いのしゝ給て、あいだなく行し故、如此のとがめ有也。